

特集

- I 一般社団法人 茗溪会第5回定時総会
- II 筑波大学附属諸学校を巡る（第4回）
- III 社会貢献に活躍する人々

目次

- グラビア …… 01～02
- 特集I 一般社団法人 茗溪会第5回定時総会 …… 03～09
- 平成28年 暑中お見舞い申し上げます …… 10
- 特集II 筑波大学附属視覚特別支援学校の「いま」…… 11～13
- 特集III 社会貢献に活躍する人々 …… 14～15
- 茗溪会 公開講座 藤原教授の英語のはなし 第13弾
「知っておきたい日本発の英語の本」藤原保明 …… 16～17
- 茗溪・東西南北 …… 18～19
- 第42回宿舍祭（やどかり祭）を終えて …… 20
- 筑波大学はいま …… 21
- 桐の葉のつどい …… 22～23
- 茗溪学園だより …… 24
- 追悼録 …… 25
- 平成28年春の叙勲おめでとうございます …… 26
- 広報 …… 26 ■ 表紙のことば …… 26
- 編集後記 …… 26

茗溪



夏

2016
平成28年
no.1090



北東から見上げた桐葉橋

Juchheim
SEIT 1909

日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 7-7-4

ユーハイム®

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者様の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供するこ
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことすべて
SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビルレジ
TEL.03-5784-8831 (代表) FAX.03-5784-8832

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

- 工学部
 - 機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
 - 電気電子情報工学科
 - 応用化学科
 - 臨床工学科
- 創造工学部
 - 自動車システム開発工学科
 - ロボット・メカトロニクス学科
 - ホームエレクトロニクス開発学科
- 応用バイオ科学部
 - 応用バイオ科学科
 - 栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]
- 情報学部
 - 情報工学科
 - 情報ネットワーク・コミュニケーション学科
 - 情報メディア学科
- 看護学部
 - 看護学科

理事長 中部 謙一郎
理事 河野 隆二(S47農)
顧問 清水 進一(S43理数) (神奈川茗溪会 会長)
監査室 矢野 正人(S53院修 農) (同 事務局長)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

特集

筑波大学附属諸学校を巡る(第4回)

筑波大学附属視覚特別支援学校



中学部修学旅行
(ツリークライミング)



小学部 新入生歓迎会



育児学級ミニ講座



インドからの研修生指導



モンゴル教育関係者見学



附属駒場高校生徒との交流
(フロアバレーボール)

第42回 宿舎祭 やどかり祭 平成28年5月28日(金)～29日(土)



公開講座

藤原保明先生
知っておきたい
日本発の英語

平成28年6月25日(土)



ちりめん本



ちりめん本を紹介する藤原先生



司会の五味田理事

若溪会公開講座
筑波大学名誉教授 藤原保明先生
知っておきたい
日本発の英語の本



一般社団法人 茗溪会 第5回 定時総会

平成28年5月26日(木) 茗溪会館にて

松村副学長 (学長代理)



江田理事長



各地区の代議員





一般社団法人

茗溪会 第5回 定時総会

平成28年5月26日(木) 茗溪会館にて

定時総会出席代議員一覧

(敬称略)

筑波大	松村 明	群 馬	福 島	実 夫	神奈川	本 木	幹 雄	京 都	川 合	英 之
筑波大	山 本 哲哉	埼 玉	相 澤	鎮 夫	神奈川	大 畑	多 津雄	大 阪	松 本	秀 範
図情橘会	森 茜	埼 玉	奥 谷	多 作	山 梨	菊 島	良 治	兵 庫	永 井	邦 治
附属校	小 山 浩	千 葉	青 木	寛	長 野	竹 村	和 也	奈 良	谷 垣	康
北海道	山 本 伸弘	千 葉	内 藤	秀 子	長 野	小 口	俊 幸	和 歌	山 土	肥 二 郎
北海道	大 沼 寛	千 葉	猿 渡	末 治	新 潟	永 井	成 一	鳥 取	小 倉	健 一
青 森	滝 口 孝之	文 科 省	三 橋	浩 志	富 山	坪 池	宏	島 根	松 本	弘 光
宮 城	松 坂 孝	葛 飾	渡 邊	悟	石 川	久 下	恭 功	岡 山	長 尾	隆 史
秋 田	越 後 真悦	新 宿	浅 井	一 郎	愛 知	川 村	昌 宏	山 口	鍋 井	邦 久
山 形	津 田 浩	中 央	中 村	穎 司	愛 知	竹 下	裕 隆	徳 島	安 永	潔
福 島	鈴 木 弘文	港	松 村	直 樹	静 岡	熊 野	善 介	香 川	高 井	信 一
茨 城	武 井 秀一	八 王 子	小 島	和 雄	静 岡	齋 藤	浩 幸	福 岡	永 沼	真 紀
茨 城	高 瀬 宏 樹	神奈川	嵐	寛	岐 阜	大 橋	則 雄	佐 賀	野 中	通 兼
栃 木	齋 藤 宏 夫	神奈川	小 山	和 夫	滋 賀	町 田	登	長 崎	山 口	千 樹
群 馬	市 川 敏 美	神奈川	佐 々 木	悦 子	三 重	辻 昭	司	大 分	渚	洋 行

ご挨拶

国立大学法人 筑波大学長

永田 恭介

(代理) 筑波大学副学長・病院長 松村 明



貴会からの日頃からの本学へのご支援に感謝を申し上げますとともに、貴会の平成28年度の定時総会に際してご挨拶を申し上げます。

世界は激動しています。昨年内外の情勢を振り返ってみるだけで、それが実感できます。世界各国では暴力的なテロやサイバー攻撃による被害が相次ぎました。安全保障関連法案の成立も全くの無縁とは言えません。アジアでは中東呼吸器症候群(MERS)の感染が拡大し、多数の感染者と死者が出ました。地球規模での気候変動は激しく、9月には関東・東北豪雨のため常総市で鬼怒川の堤防が決壊し、本学の教職員や学生も被害を受けました。環太平洋連携協定(TPP)も妥結されました。世界も日本も国境を超えて押し寄せるこうした難題に直

面しています。大学における教育、研究、経営・運営についても、こうした社会背景をしっかりと考察し、考慮して臨まなければなりません。

そのような中、本学の学生は大いに活躍をしました。女子サッカー、ラグビー、陸上、柔道などの世界大会では本学の学生が日本代表として活躍しました。ダンス部は文部科学大臣賞に、剣道部林田選手は第63回全日本学生剣道選手権大会で優勝し、E.S.S.は全日本英語スピークト大会で年間一位となりました。日本一といえば、本学大学院に在籍する工藤公康監督が率いる福岡ソフトバンクホークスも日本シリーズで優勝を果たしました。他にも文武両面において本学学生はしっかりとした成果を残してくれました。

国立大学については、今年度より第三期中期目標・中期計画期間を迎えました。本学は、建学以来の特長であり強みである「国際性」と「学際性」を基軸に、第三期中期目標・中期計画を立案しました。

一方で国立大学にとっては茨の道が始まったとも言えます。その最大の理由の一つは我が国の苦しい財務状況を反映した基盤的経費の止まることを知らない削減です。本学も国立大学法人も収入を増加させる工夫、支出を抑制する工夫、そして限られた資源の有効活用繋がる工夫などに真剣に取り組んでいます。

増収を考えた時、昨年度、優れた事例が生まれています。二年目を迎えた国際産学連携本部の活動により、産連収入が前年に比べて約三倍に増えました。

例を挙げますと、トヨタ自動車との特別共同研究事業、米国メルク社との創薬研究契約などがあります。これは、将来の本学の経営基盤を考える上で非常に重要な取り組み事例です。

このような社会と連携した研究、教育、あるいは社会貢献は、本学にとって今後ますます重要です。これを拡大するためには、産業界をはじめ本学を取り巻く人や組織とのネットワークを充実させていくことが喫緊の課題です。

その中でも大学と卒業生、修了生、本学を出られた教職員との繋がりは最も力になるものの一つです。

そのために、現在置かれている校友会の位置づけをはっきりさせるとともに、支援(者・社・団体など)のプラットフォームとしての筑波大学サポーターズクラブ(仮称)を強化して行こうと考えています。

国外にも多数の自称の同窓会や校友会組織があり、それらに所属する会員諸氏は大学からの情報を、また大学との繋がりが海外在住の会員間での情報交換を求めています。これに呼応して、昨年度、TINETと呼ぶバーチャルプラットフォームを立ち上げました。

茗溪会におかれましては、ますますのご発展をお祈りするとともに、本学へのご支援をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

挨拶 (要旨)

一般社団法人 茗溪会

理事長 江田 昌 佑



本日は、一般社団法人茗溪会定時総会を開催しましたところ、ご多忙の中、全国各地からご出席いただき心から感謝申し上げます。

私どもの茗溪会は、我が国最古の大学同窓会としての伝統を継承しながら、制度改革による一般社団法人に移行してから、早や5回目の総会を迎えます。

まず、お伝えすることは、当初よりの本会事業の基本的な3つの柱

①同窓会としての互助事業の拡充

②公益的事業の強化・充実

③大学への支援

は変わらず実施するとともに、財政安定のために、茗溪会拡充キャンペーンを推進します。

今回の総会に際しまして、茗溪会自身が当面する現状について述べ、各位のご理解とご協力をお願いしておきたいと存じます。

【茗溪会館の利活用】

昨年の総会時に、後任テナントと最終折衝段階にあると報告致しました。昨年9月に、(株)シーズンと定期建物賃貸借契約を締結し、その後順調に進展しています。選定に際しては、会館を従来どおり、会員や関係者が利用しやすい、旧会館の調度品、備品等も利活用して、先人のレガシーを偲ぶことができることも重視しました。私たちは茗溪会館を過去・現在・未来にわたる茗溪人の志の故郷として、

また勇気もらえる処としてますます発展させたいと望んでいます。何かにつけ会館をご利用いただくとともに、本会事務局をお尋ねいただければ幸いです。

【新法人発足3年を経過してレビューと中期将来計画】(答申)

本年1月、本会企画運営委員会の答申は理事会で承認されました。更に、議員の皆様にご意見やご提言を徴したところです。この答申は、茗溪会の今後の運営の基本的な綱となり、かつ理事会運営の指針となるものです。議員の皆様には十分なご理解とご協力をお願いするところです。現在、理事会・委員会体制は、円滑に機能し、また、事務局体制については、大塚事務所と筑波事務所が緊密な連携のもとで、本会の諸事業が円滑に推進できるように刷新を図っています。会員の皆様への対応などに齟齬のないよう努めています。

また、茗溪会拡充キャンペーンにつきましては、5%の会員増加、5%の収益増加、5%の経費削減を進める。"Go1・5・go作戦"を推進し、収益の改善を目指しました。成果として、会員及び収益面については、大幅な改善にはならなかったものの、経費面では相当の成果を上げており、一定の成果はあったと考えられます。今後ともキャンペーンを継続し、一層の充実を図っていく必要を痛感しています。各地域組織等におかれても、会員確保、会費納入促進の面で特段のご尽力をお願い致します。

【地域組織等の充実・強化】

答申の中で、本会と母校との関係については、①お互いを尊重する立場にあることを認識していること、②お互いの領分を侵さず、適切な立場で協調すること、と要約しています。この様な百四十年にわたる両者の基本的認識に留意しながら、本会同窓会活動のあり方について検討と対応が迫られます。すなわち、本会は教育界の中で同窓会組織として確固たる柱をもっています。その柱を大切にしつつ、もう一つの柱として、教育界以外の業界での自立的な同窓の活動を支援し、連携を深めてネットワーク化を進める段階に至っていると考えられます。そのような同窓支援の活動を新しく大きな柱として打ち立てる時期が来ているのです。母校との連携を強化しつつ、会員のための同窓会

活動として、何が可能かを検討し対応していく必要を痛感しています。

本会の基本的構造は、地域組織等の合同体として成立しています。理事会内の組織委員会が本年度の重要事業として、中央組織と地域組織等の連携、地域組織等の交流推進などの課題に取り組み、実態調査等を実施する計画です。各地域組織等のご協力を切に願うところです。

【財政上の健全化・安定化】

本会の収支は、大きく分けて ①直接的な同窓会運営のための収支と ②資産管理部門の収支の二つの柱から成り立っています。従って、この二面性に留意しつつ財政の健全化を進める必要があります。前者の収入は会員の会費であり、支出は会報の発行や各種事業実施の費用等です。皆様ご承知のように、昨今の会費納入率は15%以下のレベルです。諸事業遂行のためにも支障が生じないよう、拡充キャンペーンなどを通して、更に特段の努力で会員増加・会費収入増加の方向に転じたいと切望しています。各地域組織等におかれても適切な方策を講ずるなどご尽力をお願い致します。

後者の収支については、本会の保有する資産は大塚の土地と茗溪会館であり、本会はその保全を図りつつ、この資産を活用して安定的・持続的に経営を行うことが求められています。茗溪ビルの底地を貸地としての地代収入と茗溪会館の建物賃貸料が主たるものです。一方で現在の茗溪会館建設の際の資金として、土地の借主からの長期借入金及び保証金を活用しましたが、この実質負債は保証金引当特別預金を設けて、地代の一部を積立て返済計画を順調に進めています。長期借入金については、昨年度で完済しました。

茗溪会館は、前述したようにリニューアル・オープンを果たしました。その間の二年間の会館収益が無かった経緯とやや大型内・外装、設備等の工事費の捻出などもあり、財務的には余裕のないところでありました。

本会は、可能な限り経費削減に努めておりますが、現状では、まだ財政面での苦勞から解かれることがありません。しかし、諸施策の実施などによって、この数年で脱することができると考えています。

以上、諸点について述べましたが、今こそ自助努力することが大事であると、改めて私自身肝に銘じているところです。

本会理事会は、茗溪会平成の中興を目指して、一丸となつて渾身の努力をしております。議員の皆様、全国各地組織等の皆様には、茗溪会の一層の発展のために特段のご理解と更なるお力添えを重ねてお願い申し上げます。私のご挨拶と致します。

一般社団法人 茗溪会(平成28年度) 第5回定時総会議事(要旨)

一般社団法人茗溪会第5回定時総会は、平成28年5月26日(木)13時30分から茗溪会館において開催されました。議事に先立ち、高野力常務理事・事務局長から、代議員総数110名のうち、出席60名、委任状による出席21名、合計81名の出席があり、定款第17条により定時総会は成立すると報告がありました。

江田理事長から『新法人発足後5回目の総会を迎え、今年度も引き続き財政安定のため「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し一層の充実を図っていきたい。また、茗溪会館の利活用については、昨年9月に(株)シーズンと契約を締結し、その後順調に進展していることが報告されました。

また、本年1月に企画運営委員会が答申した「新法人発足3年を経過し——レビューと中期将来計画——」は今後の本会の運営の基本的な綱となり、理事会運営の指針となるものであるとの挨拶がありました。

さらに理事長は「地域組織の充実・強化」についてや「財政上の健全化・安定化」についても触れられ、今こそ自助努力することが大切であると述べられました(P5参照)。

江田昌佑理事長の挨拶に続いて、筑波大学永田恭介学長は公務のため欠席されたため、同大学松村明副学長・病院長(本会筑波大学支部長)が来賓祝辞を代読されました(P4参照)。

議長就任、議事録署名人及び開会宣言

定款第15条により議長に江田理事長がつき、定款第19条第2項により議事録署名人には議長及び出席した理事全員であることを告げ、代議員の出席状況から、定款第13条により、総会が成立した旨を告げ、開会を宣言して議事に入りました。

審議事項

第1号議案 平成27年度事業報告、収支計算書類及び監査報告の承認について
高野力常務理事から資料に基づき平成27年度事業報告について次のような説明がありました。



高野 力 常任理事

- 1 会員状況
正会員 19,901(昨年20,520)
登録会員 55,517(昨年54,630)
(2年間会費未納者を含む登録会員数)
- 2 第4回定時総会は平成27年5月21日に開催。

- 3 理事会は年に8回、開催。
- 4 企画運営委員会は年5回、組織委員会は年10回、大学つくば地域支援委員会は年2回、公益広報委員会は年14回、顕彰選考委員会は年3回、会館特別委員会は年4回、関連三法人関係の会合は年1回、監事監査会は4月に1回、大学との連絡・懇談会は年2回開催されました。

- 5 公益事業として、①学生活動支援事業、②顕彰事業、③公開講座、④大学支援事業、⑤教職受験対策講座補助等をおこないました。③の公開講座は本部主催が4件、支部主催が10件実施されました。
- 6 地域組織総会等は、28地域組織等で総会が開催され、本部から24の地域組織等に理事を派遣しました。

- 7 追悼のつどい 9月5日
参列23名
- 8 筑波大学就職ガイダンス講師派遣
11月 1月

- 9 広報 季刊誌『茗溪』の発行
1085号(春号) 1086号(夏号)
1087号(秋号) 1088号(正月号)
- 10 茗溪会拡充キャンペーン
①茗溪フェロー募集
延べ応募者数 1,346



岩田敏昭 局長代理

- (3月31日現在)
②誌上交流広告応募件数
暑中見舞い0件 新年賀詞交換33件
平成27年度収支決算書及び監査報告承認の件

議長から平成27年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書は本総会で承認を得ることが必要とされている旨の説明があり、岩田敏昭局長代理から資料に基づき詳細な報告がされました(項目別の収入及び支出はP8の収支計算書を参考にして下さい)。

続いて飯塚良成監事から平成27年4月18日に会計監査と業務監査を行い、次のような監査報告がなされました。

- (1) 財務諸表すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会慶弔簿の金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。



飯塚良成 監事

議長は、第1号議案の一括審議を諮り、全会一致で異議なく承認されました。

第2号議案 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について

議長の指示により、高野力常務理事が資料に基づき平成28年度事業計画(案)を、岩田敏昭局長代理が資料に基づき平成28年度予算(案)について説明しました。

議長が質問・意見を求めたが、特になく、本議案については、異議なく賛成多数(拍手)であったので、議長は可決承認されたことを宣言しました。

第3号議案 役員を選任(理事24名、監事2名)について

議長の指示に従い、役員選考委員会を務めた西川潔副理事長から、4月23日に開催された役員選考委員会で慎重に審議した結果、理事及び監事の候補者として次のとおり選考したとの説明があり、審議願っていた旨の提案がありました。



西川 潔 役員選考委員長

- ① 重任理事候補者としては、江田昌佑、井口武雄、西川 潔、高野 力、阿江 通良、新井達郎、鶴沢 力、川田孝一、河本 武、五味田 優、佐藤 忍、柴 田 淳、高橋基之、田中正造、西川綾子、福岡一雄、宮尾 徹、百瀬明宏、守屋正彦の19名
- ② 新任理事候補者としては、大澤義明、

坂下辰夫、渡部史人、加藤充洋、田代 淳一の5名

③ 重任監事候補者としては、飯塚良成、田路至弘の2名

以上の提案に対して、議長から、1人づつ挙手により選任について諮ったところ、すべて賛成多数であったので、議長は選任されたことを宣言しました。

以上ですすべての議事が終了しました。

報告事項

(1) レビュー及び中期将来計画について
レビューについては高野力常務理事が、茗溪会の同窓会活動に関する中期将来計画については西川潔副理事長が、茗溪会の経営施策に関する中期計画については井口武雄副理事長から報告がありました。



井口武雄 副理事長

(2) 茗溪会拡充キャンペーンについて
井口武雄副理事長が資料に基づいて、報告されました。

議事終了 休憩

以上の議案及び報告が終了したため、理事長は10分間の休憩をとり、その間に

新理事による第30回理事会を開催したいとの発言があり休憩に入りました。

諸連絡

(1) 会員登録・会費納入状況、各地域組織からの提出・報告・連絡文書について、室岡事務局長代理から説明がありました。



室岡和彦 局長代理

- (2) 筑波学都資金財団について、配布資料に基づき石山事務局長から説明がありました。
- (3) 筑波大学学生宿舎について、配布資料に基づき武井学生宿舎管理事務所長から説明がありました。
- (4) 茗溪学園について、配布資料に基づき田代校長から説明がありました。
- (5) 平成28年度一般社団法人茗溪会地域組織等調査について川田組織委員長から地域組織等の実態調査を行いたいとして協力依頼がありました。
- (6) 東京都茗溪会の名称変更について高橋東京都茗溪会会長(本会理事)から今後の総会において「東京都茗溪会」を「東京茗溪会」に名称を変更する予定等の報告がありました。

議事再開

先ほどの理事会で江田昌佑が理事長に選任されたとの報告がされました。
引き続き、退任した旧理事(6名のうち出席した大勝信明氏)と新理事(6名全員出席)のご逝去された古藤昭子旧監事が紹介されました。

閉会宣言

江田昌佑理事長から閉会宣言がなされ総会は終了しました。

総会に引き続き、会場を4階に移して会員懇談会が開催され、江田理事長の挨拶、出席者による懇談が行われました。



平成27年度決算報告

貸借対照表

平成28年3月31日現在

単位千円

資産の部	
I 流動資産	
現金預金	134,484
未収消費税	0
前払費用	0
流動資産合計	134,484
II 固定資産	
固定性預金	282,398
建物	698,698
構築物	5,016
機械装置	1,928
什器備品	758
土地	314,775
固定資産合計	1,303,576
資産合計	1,438,061
負債の部	
I 流動負債	
前受金	21,755
未払法人税	70
未払消費税	494
預り金	10,435
流動負債合計	32,755
II 固定負債	
長期借入金	0
退職給与引当金	2,094
満期共済金引当金	34,300
保証金	1,400,000
修繕費積立金	1,000
固定負債合計	1,437,394
負債合計	1,470,149
正味財産の部	
一般正味財産	△32,088
正味財産合計	△32,088
負債及び正味財産合計	1,438,061

正味財産増減計算表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

単位千円

I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 地代収入	58,900
② 建物賃貸収入	1,998
③ 正会員受取会費	27,137
④ 茗溪フェロー会費	3,594
⑤ 委託料収入	2,353
⑥ 広告料収入	3,860
⑦ 寄附金収入	170
⑧ 退職給付引当金戻入益	2,000
⑨ 受取利息	68
⑩ 駐車場利用収入	1,503
⑪ 雑収益	2,077
経常収益計	103,662
(2) 経常費用	
① 事業費	24,863
② 管理費	—
経常費用計	142,876
当期経常増減額	△39,213
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	27
経常外費用計	27
当期一般正味財産増減額	△39,241
一般正味財産期首残高	7,153
一般正味財産期末残高	△32,088
II 正味財産期末残高	△32,088

収支計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

単位千円

I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 事業活動収入	
会費収入	30,732
正会員会費収入	27,138
フェロー収入	3,594
事業収益	67,111
地代収入	58,900
建物賃貸収入	1,998
委託料収入	2,353
広告料収入	3,860
寄付金収入	170
寄付金収入	170
雑収入	3,649
駐車場利用収入	1,503
受取利息収入	68
その他雑収入	2,078
退職給付引当預金取崩収入	2,000
退職給付引当預金取崩収入	2,000
事業活動収入計	103,662
(2) 事業活動支出	
事業費支出	84,982
管理費	20,510
予備費	2,000
事業活動支出計	105,492
事業活動収支差額	△1,830
II 投資活動収支の部	
1 財務活動収入	
財務活動収入計	78,483
2 財務活動支出	
① 借入金返済支出	15,667
② 保証金返済引当支出	0
財務活動支出計	95,244
財務活動収支差額	△16,761
当期収支差額	△18,591
前期繰越収支差額	120,883
次期繰越収支差額	102,292

平成28年度 一般社団法人 茗溪会 事業計画

1. 事業計画のねらい

- (1) 本年度は一般社団法人移行後5年目にあたり、将来を見通し、さらに事業を円滑に進めるための計画を実施する。
- (2) 公益目的支出計画に基づいて事業の推進を図る。
- (3) 茗溪会館の利活用を安定・向上させることを重点事業と捉え取り組む。
- (4) 平成28年1月の財務審議会答申を受け、継続して将来を見通し事業を展開する。

2. 事業の目的 (定款第3条)

会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図り、併せて国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力し、学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する事を目的とする。

3. 事業の内容 (定款第4条)

- (1) 会員相互の親睦を図るための交流事業並びに会員の福祉を図るための共済に関する事業
 - ① 茗溪会拡充キャンペーンの継続実行
 - ② ホームページの充実による交流促進
 - ③ 追悼のつどいの実施
- (2) 定期刊行物その他出版物などの発行に関する事業
 - ① 季刊誌「茗溪」の発行…年4回
- (3) 研修会、講演会、公開講座等公衆の教養向上と地域社会への貢献に資する事業
 - ① 公開講座の実施
 - ② 地域組織等主催による公開講座への助成
- (4) 学術、芸術、社会貢献、国際相互理解等の顕著な活動に対する奨学、支援、表彰などに関する事業
 - ① 顕彰事業 (社会貢献活動功労者、筑波大学大学院生、筑波大学芸術関係)
 - ② 学生諸活動への助成事業
- (5) 財産の管理・運営に関する事業
 - ① 茗溪会館の利活用を安定・向上させる事業
- (6) 教育の振興、普及活動に資する事業
 - ① 筑波大学側と地域組織等との交流
 - ② 筑波大学就職ガイダンスへの協力
 - ③ 教職受験対策研修会の開催
 - ④ 茗溪筑波グラウンドフェスティバルの共催
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 前項の各事業は、全国において行うものとする

平成28年度予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

単位千円

科 目	28年度予算	科 目	28年度予算	科 目	28年度予算
I 事業活動収支の部		(2) 事業活動支出		II 投資活動収支の部	
1 事業活動収入		事業費支出	88,990	1 投資活動収入	0
(1) 事業活動収入		給料手当支出	24,400	2 投資活動支出	0
会費収入	30,732	助成金支出	10,800	投資活動計	0
正会員会費収入	27,138	式典費支出	500	投資活動収支差額	0
フェロー収入	3,594	旅費交通費支出	700		
事業収益	89,136	負担金支出	270	III 財務活動収支の部の部	
地代収入	58,900	通信運搬費支出	6,200	1 財務活動収入	0
建物賃貸収入	23,976	印刷製本費支出	4,200	財務活動収入計	
委託料収入	2,400	租税公課支出	28,000	2 財務活動支出	
広告料収入	3,860	業務委託費支出	7,500	(1) 借入金返済支出	0
寄付金収入	100	光熱水料費支出	2,800	(2) 保証金返済引当	39,000
寄付金収入	100	火災保険料支出	620	(3) 退職給与引当支出	592
雑収入	2,771	修繕費支出	3,000	財務活動支出計	39,592
駐車場利用収入	1,503	支払利息支出	0	財務活動収支差額	△39,592
受取利息収入	68	管理費	17,202		
その他雑収入	1,200	事業活動支出計	106,192	IV 予備費支出	2,000
退職給付引当金取崩	0	事業活動収支差額	16,547	当期収支差額	△25,045
退職給付引当金取崩	0			前期繰越収支差額	102,292
事業活動収入計	122,739			次期繰越収支差額	77,247

平成28年(2016年)



暑中お見舞い申し上げます



一般社団法人 茗溪会

一般社団法人 茗溪会 理事長 江田昌佑 (昭和30年卒教大体) 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 TEL 03-3491-0136	一般社団法人 茗溪会 副理事長 井口武雄 (昭和40年卒東京教育大学法政) 三井住友海上火災保険㈱ 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL 03-3259-3111	一般社団法人 茗溪会 副理事長 西川 潔 筑波大学名誉教授・博士(デザイン学) (昭和44年教大構成 昭和46年院修美) 〒305-0031 つくば市吾妻3-1-1-109 e-mail:q.nishikawa@gmail.com
一般社団法人 茗溪会 常務理事 事務局長 高野 力 (昭和48年教大農木工) 〒270-2231 千葉県松戸市稔台3-23-15 TEL 047-367-2198	一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学数理 物質系教授 研究基盤 総合センター長 新井達郎 (昭和56年博士課程化学研究科修了) TEL 029-853-4315 arai@chem.tsukuba.ac.jp	一般社団法人 茗溪会 理事 川田孝一 (昭和39年卒教大総農科) 全国調査へのご協力をお願いします。 〒194-0045 町田市南成瀬5-29-6 TEL 042-728-5428 連絡先 桜美林大学入試広報センター 相談役 TEL 042-797-6196
一般社団法人 茗溪会 理事 株式会社 ユーハイム 代表取締役 会長 河本 武 (昭和37年卒体育学部健康学科) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-2-9	一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学 生命環境系教授 教育企画室長 佐藤 忍 (昭和60年筑波大博士課程生物) TEL 029-853-4672 email:satoh.shinobu.ga@utsukuba.ac.jp	一般社団法人 茗溪会 理事 学校法人 茗溪学園 事務局長 柴田 淳 (昭和52年教体卒) (昭和56年筑修体) 〒305-8502 つくば市稲荷前1-1 TEL 029-851-6611
一般社団法人 茗溪会 理事 福岡経営労務事務所 所長 社会保険労務士 福岡一雄 (昭和32年卒教大法政) 〒125-0042 東京都葛飾区金町3-27-3 TEL 047-361-2618 FAX 047-361-2643	一般社団法人 茗溪会 理事 筑波大学教授 守屋正彦 (昭和51年教大芸卒) (昭和53年教大院修美) 〒305-0005 つくば市天久保4-5-4 TEL 0298-50-3901	飯塚公認会計士・税理士事務所 公認会計士・ 飯塚良成 (茗溪会監事) (事務所) 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台14-7 TEL 045-988-0846 FAX 045-988-0847 mail:nqf46967@nifty.com
一般財団法人 筑波学都資金財団 理事長 田中正造 (昭和36年卒教大・健) 〒305-0005 つくば市天久保1-13-5 TEL 029-851-5152	学校法人 茗溪学園 茗溪学園中学校高等学校 理事長 中川喜久治 校長 田代淳一 (昭和59年筑波大修士教育研究科・理科) 〒305-8502 つくば市稲荷前1-1 TEL 029-851-6611	長野県支部 支部長 小口俊幸 (昭和54年 第二学群比較文化学類) 事務局長 梅村泰代 (昭和57年 第二学群比較文化学類) 長野県松本深志高等学校内 TEL 0263-32-0003 ※支部一同頑張っております。
新潟茗溪会 会長 永井成一 (昭和41年 教大法政) 事務局長 長田裕 (昭和59年 筑体) TEL・FAX 025-277-5317(事務局長宅) 今年度予定: 7/2総会、10/15研修会、2/25研修会	大阪茗溪会 会長 松本秀範 (昭和53年 修士林卒) 大阪歯科大学特任教授 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町8番1号 理事長 岡村多加志 (昭和55年 筑一群自然卒) 大阪府立生野高等学校校長 〒580-0015 大阪府松原市新堂1丁目552	広島県支部 事務局長 大辻 明 (昭和47年体育学部) 〒733-0842 広島市西区井口鈴が台2-9-11 TEL 082-277-9389 大先輩がここ数年で相次いでお亡くなりになり、 筑波大卒業生の積極的参加を期待しています。

筑波大学附属視覚特別支援学校の「いま」

本校は、今から140年ほど前の明治8年に古川正雄・津田 仙・岸田吟香・中村正直・ボルシヤルト・フオールズが訓盲所設立について相談し、楽善会を作ったことに端を発し、1880年に東京築地の校舎で授業が開始されました。当初は盲啞学校でしたが、分離され1910年には現在の地(文京区後楽)で東京盲学校としてスタートしました。以降、昭和25年に東京教育大学の附属盲学校、昭和53年に筑波大学の附属盲学校となり、平成19年より筑波大学附属視覚特別支援学校と改称し、現在に至ります。国立大学附属としては唯一の視覚特別支援学校として、幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科・高等部音楽科・専攻科鍼灸手技療法科・専攻科理学療法科・専攻科音楽科・専攻科鍼灸手技療法研修科までの180名を超える幼児・児童・生徒が学んでいます。中学生以上は併設されている寄宿舎で生活している生徒もいます。

1 学校目標と教育方針

◆障害の克服

本校は視覚に障害がある幼児・児童及び生徒に対して、障害を克服し、人間として調和のとれた発達を図り、積極的に社会に参加し貢献することができる人間を育成することを目標としています。そのため、幼児・児童及び生徒の有する感覚を有効に活用し、個人の自主性と個性を尊重して、社会生活における自主的な思考力・判断力

並びに積極的な行動力を養い、主体的に参加していくための知識・技能・態度及び習慣を養うことを基本方針としています。

◆教育方針

幼稚部から高等部普通科は、それぞれ幼稚園・小学校・中学校・高等学校と同じまたは準じた目標を達成することとし、専攻科はそれぞれ、あん摩マッサージ指圧、鍼灸師の国家資格取得、理学療法士の国家資格取得、音楽において高い専門性を目指しています。



学校全景

2 教育活動と特色

全盲児童・生徒は学習の手段として、点字を使用、ま

た、実物教材や模型などの触察教材をはじめとして、全盲児童・生徒のために工夫された様々な教材・教具を活用して学習を進めています。

弱視児童・生徒は、主として普通文字を使用して学習を進めています。それぞれの見え方に配慮した学習環境を設定し、拡大教科書や拡大教材を使用、また、弱視レズや拡大読書器などの補助具も活用しています。

教科学習の他に、「自立活動」の時間を設定し、視覚の活用や手の協応、歩行、発達段階や個人のニーズに応じた指導を行っています。

◆幼稚部

遊びを中心とした保育の中で、一人ひとりの可能性の芽を伸ばしていくことに力を注いでいます。三歳から五歳児までの在籍幼児に加え、〇歳児から二歳児段階の乳幼児と家族のための育児学級を設け、支援を行っています。

◆小学部

小学校に準じた教育を行い、教科学習や自立活動、日常生活等を通して、確かな学力と基本的な生活習慣の確立を目指しています。



ブタの下顎の歯を触って何食性動物か推測する

◆中学部

中学校に準じた普通教育を行っている。基礎的な内容を教科教育の中でさらに発展させ、主体的に学習に取り組めるよう教育活動を展開させています。

◆高等部

高等学校に準じた普通教育を行っています。生徒の自主性と個性を尊重しながら、人間として調和のとれた発達を図っています。高等部卒業生は、7〜8割は一般の大学、2〜3割は専攻科等に進学しています。

◆音楽科

高等部及び専攻科に設置しています。視覚障害者の音楽の専門教育機関として、音楽の基礎から専門まで幅広く指導を行っています。



音楽科定期演奏会

◆鍼灸手技療法科

高等学校卒業生を対象として鍼・灸・あんまマッサージ指圧師を養成する3年制の職業教育課程で、アジア諸国から視覚に障害がある留学生を受け入れています。

◆理学療法科

高等学校卒業生を対象として理学療法士を養成する3年制の職業教育課程で、理学療法士の基礎知識や技術の習得を目指しています。

◆寄宿舎

敷地内に併設している寄宿舎では、学校教育の一環として、集団生活を通して広い視野を持ち、主体的に社会に参加しようとする人材の育成を目指しています。中学部以上の生徒約90名が共に生活し、自治組織が企画・運営する寮祭などの行事を通して親睦を図っています。



寮祭でのバンド演奏

◆運動会

幼稚部と小学部では、様々な工夫をしながら運動会を行っています。例えば、円周走という競技では、杭を打ち、握るためのリングがついたワイヤーをそこに固定しワイヤーが張るようにしながら走ります。

◆雑司ヶ谷祭（文化祭）

本校に於ける、最大の行事となります。中学部から専攻科までの生徒が実行委員会を組織し、そこを中心に企画・運営する行事です。10月下旬から11月上旬の間の二日間で行われ、研究発表・作品展示だけでなく、音楽演奏や模擬店も出店します。本校の幼児・児童・生徒だけでなく卒業生及びその保護者も含めた交流の場にもなっています。



雑司ヶ谷祭での演奏会



運動会での円周走

◆他附属との連携

筑波大学には附属学校が11校あり、いろいろな形で連携しています。昨年度、実施された行事には次のようなものがあります。

幼稚部…久里浜特別支援学校と地引き網体験

小学部…小学校との合同授業及び坂戸高校との芋掘り体験を通じての交流

中学部…附属中学校との交歓会、オセロ部の桐が丘特別支援学校との対戦会

高等部…附属高校との交歓会

寄宿舎…附属駒場高校との交流、ブライインドサッカー部の駒場中学サッカー部・附属中学校サッカー部・大

学蹴球部も交えてのブライインドサッカー交流会

ただ、インクルージョンというだけでなく、他の障害をもつ幼児・児童・生徒とも多様な企画で連携出来るのは、これだけの附属学校をもっている筑波大学だからこそとも言えます。これらの機会は、本校の幼児・児童・生徒にとっても貴重な経験になっています。

◆グローバルな視点での多様な国際交流

鍼灸科には、現在6名の留学生がいて、普段から国際交流が可能な状況にあるだけでなく、高等部には国際交流部があり、ハンズオントーキョーというボランティア団体の協力もあり、様々な国籍の方と交流をしています。国際交流部の活動は、「トビタテ留学JAPAN」日本代表プログラムへの応募という形につながり、2名が採用されるという結果をもたらしました。(9月からチェコの特別支援学校への短期留学が決定しました)また、昨年度は筑波大学教育局の予算により、高等部の3名の生徒がタイで移動図書館を運営する卒業生に会いに行くという体験もできました。また、地理的に東京の中心部にあることから、普段から海外からの見学者も多く、中には生徒との交流を希望される団体もあり、生徒はその恩恵を享受しているとも言えます。職業課程においても、JICAとの連携事業により、インドにおける視覚障害者の職業教育支援事業を展開してきました。



いも掘り体験 (小学部と坂戸高の生徒)



タイの盲人協会訪問

◆全国の視覚特別支援学校との連携

筑波大学には視覚障害教育を専門とするスタッフが揃

っており、本校としては、常にその恩恵に浴していると言えます。ただ、このように恵まれた環境の下で全ての視覚特別支援学校が教育活動を展開出来るわけではありません。そのため、本校では、全国に向けて情報発信をするため、視覚障害教育ブックレットを発行し、専門性の継承と維持に努めています。また、学校での実践を見学して頂く授業公開や、各教科・領域における話題を取り上げ協議する場としての研究協議会も開催しています。

また、この学校は、視覚障害を専門とする学生の教育実習の場であるだけでなく、介護等体験の場、教員免許状更新講習の場、さらには歩行指導者研修会でもあります。いろいろな機会をとらえて、本校から全国へ情報を発信出来るよう心がけています。

3 本校の課題

◆教育面

視覚障害者は障害者の中でも数が少ないため、スクーレルメリットの恩恵にあずかれる事はまずありません。どうしても、その支援機器は高価になりがちです。学校として準備すべき物でも、限られた予算の中では購入することが難しいこともあります。外部資金を利用して購入すると簡単に言えない事情もあり悩ましい限りです。

◆スポーツ面

本校では、これまでも多くのパラリンピアンを輩出してきました。メダリストも少なくありません。ただ、その練習環境としては、必ずしも恵まれたものとは言えません。昨年本校を見学された遠藤利明オリンピック・パラリンピック担当大臣のご尽力により、今年、体育館の冷房がようやく設置されることになりました。ただ、プールについては12・5メートルほどの長さしかありません。今後、2020年に開かれる、東京パラリンピックに向け、立地の良さから、練習場として利用される可能性も考えられます。さらなる施設の充実が今後の大きな課題になります。

活躍する人々

点字について

東 久美子



東 久美子さん

点字を始めたきっかけは、世の為人の爲とはこれっぽっちも考えず、好きな本を世に広めたいという不純な動機からでした。

一ヶ月に一度郵送で添削を受け、2年間の通信教育を受けた後の初めての点訳は児童書でした。今でも覚えています。

- ① 点字図書館から依頼の原本が送られます。
- ② 下読み、名前・地名の読み方を調べます。
- ③ 数ページ点訳、一冊の原本が何分冊になるか計算します。
- ④ 隙間時間に少しずつやるので、一日に数枚しか進みません。
- ⑤ 見直しをして、間違った所は、点を打ち足したり、点字のボコに糊を付けて戻らないように平らにしたりします。訂正が半ページ以上になったら、触って読む触読では読みにくいので、紙を新たにして打ち直します。

一冊の原本は数冊の点訳書に分冊され、一つのタイトル点訳書が出来るまでには一年近くかかる事もありました。

そんな状態が数年続き、パソコンの点訳ソフトがIBMから出ました。

点字図書館は、県立だったので民間企業からの寄贈を受け取る事が出来ず、IBMからの10台のパソコンと5台の点字用プリンタは、点字図書館内にあるボランティア団体の「点訳の会」に寄贈されました。

点訳者10人に声が掛けられ、盛岡の点字図書館内の一室でパソコンの扱い方と点訳ソフトの使い方を教わ

りました。それぞれのパソコンを受け取り、車で来た人は車に積み込みました。

私は釜石から2時間かけての列車での移動だったので、手持ちでは持ち帰れず、プリンタと一緒に後日送ってもらいました。

点字の6点打ちの専用キーボードがあり、ワープロのように訂正が簡単に出来るので、手打ちに比べてかなりスピードが上がります。

パソコン点訳者2人にプリンタ一台が貸し出され、印刷した墨点字を相互校正をする事になりました。

岩手沿岸にはパソコン点訳者は私一人だったので、私にはパソコン一台とプリンタ一台が貸し出され、校正は図書館がやってくれることになりました。



点字機

パソコン点訳に慣れた頃、釜石の私と盛岡・花巻の3人が、他の人の校正をすることになりました。

パソコン点訳で点訳書の出来上がりが早くなり、点字図書館だけでは手が回らなくなりました。

打ち込みが早くなり、訂正が楽になった分、手打ちでは考えられないような凡ミスも多くなりました。

その頃メールはなかったので、やり取りに数日かかる手紙で相談しながら手探りで校正でした。

机の上にパソコンを置いての点訳は、冬はホットカーペットだけでは寒く、コタツで点訳をやりたいなあと思つたものでした。やがて、ノートパソコンで点訳が出来るようになり、念願のおこたでの点訳です。

その頃新しくパソコンを買った校正仲間誘われてパソコン通信の世界に飛び込みました。

音声訳の人達が読み方調べの部屋を開いていたからです。



読書中

始めた頃は若手だったのに、今や優秀な若手にどんどん追い越され、人名・地名の読み方の下調べや集中力が必要な点訳は引退し、校正で優秀な若手のミスを秘かに味わっています。

地域に奉仕して

松世三重子

明るいまち・住みよいまちづくり



松世三重子さん

「元気で明るく潤いのある街」を願って、音楽のまち川崎として、ロビーコンサートを続け20年近くになる。

このコンサートは区役所が主催し、委託を受けた民間のボランティアで企画から運営までやっている。

名称は「夢こんさあと」。私はこのコンサートの代表を務めている。8人の実行委員で出演者選考からチラシ、ポスター、プログラムの作成、映像記録や司会等それぞれの特技を生かし、楽しく活動をしている。

実行委員は皆音楽好き、音楽家、町内会の会長、主婦もいる。年齢も30歳〜80歳代と幅広い。

この「夢こんさあと」は、小さいお子様からご年配の方まで気軽に生の演奏を聴くことができる。そのお客様一人一人に声をかけ温かく出迎える。約150人〜200人の席は、楽しみに聴きに來られる人達で、いつも満席になる。常連の方達も多い。昼休みおよそ45分間の演奏に酔いしれ、会場は幸せな一時に満ち溢れる。

どの出演グループも素晴らしい演奏だが、中でもあるソプラノ歌手が「シューベルトのアペリア」を歌った時、あまりの美しさに感動し涙したと書いたアンケートを沢山貰ったこともある。このコンサートは記憶に残るものだった。いずれにせよコンサートが終わると、満面の笑顔のお客様から私どもに「素晴らしい。感動しました。有難うございました。ご苦労様でした」など言葉をかけてくださる。この時が私どもには一番嬉しく、幸せを感じ報われる。20年近く大事に育て上げてきた「夢こんさあと」。お客様も音楽を聴く姿勢がキチンとでき、どの出演者からも、お客様の質が高い、お客様が温かいとお褒めの言葉をくださ

る。会場は本当に良い雰囲気だ。仲間同士の信頼関係、出演者との信頼関係、そしてお客様との信頼関係が繋がり、それぞれ知らない者同士でも声を掛けあって仲よくふれあっている。

来年の11月には20周年と50回記念のスペシャルコンサートを企画。川崎市の誇る素晴らしい音響のコンサートホール「ミュージアム川崎」で開催する大掛りな催しを予定している。今から皆ワクワクしながら、構想を練り検討準備に入っている。

私は音楽に携わりながら、非行や犯罪に手を染めた人たちの更生を手助けしている。保護司として20年前法務大臣から委嘱を受けた。初めの頃は、戸惑いを感じながら、対象者と1対1の面接を繰り返していた。20年の間、いろんなケースを持った。窃盗、暴力、横領、薬物、実子殺害等である。

少年から60歳位まで年齢も男女問わずさまざま、1対1の面接は私も緊張するが、対象者も緊張しているのが分かる。

対象者は玄関に立つと玄関の戸を開ける前に襟を正して入ることがわかった。

それは、全員ではないが保護司の家に定期的に行くことで、再犯の抑止力になっていいると思った。およそ30分から1時間の面接、2時間になる事もある。口数の少ない対象者、また一方的にしゃべり自分を正当化する対象者もいる。面接時のみの顔しか知らない。嘘をつかれることも度々だが、相手を信じるしかない。私にできることは、話を聞いてあげること。苦しく辛いことや悲しい

この話は、心を共にして一層耳を傾けて聴く。とにかく相手が心を許すまで、信頼関係を築き上げ、それを続けた。でも、大事な事は家族が本人をどのよう支えていくことが出来るか、回りの人の理解である。

たいがい犯罪を犯す人の裏には両親との確



執や夫婦の問題があったりする。家族は意外にそのことに気付いていない。家族は自分が接してきたことは正しい。友達や、本人が悪いと思いついでいる。

保護司は、本人に寄り添うだけでなく、家族とも信頼関係を結んでいかななくてはならない。容易な事ではない。親との面接も自尊心を傷つけないよう配慮して協力を求める。「保護司さん厳しく叱って更生させてください」と初回面接で親から言われる。「お父さん、家族と私で協力して本人を支え、良い方向に導いていきましょう」とお願いする。少年の更生を心から願っている家庭は、家族の協力があつたため、早い段階で保護観察が解除される。

難しいケースは精神疾患のある人、でも犯した罪は償わなければならぬ。が、どうも病気がそうしたと、病気のせいにしていいるところに問題があり、本人以上に家族がそう考えている。確かにそうだ。だからといって許されるものではない。こういう難しいケースは、いろんな関係機関と連携を取りながら進めていくが、大きな支えのほの家族が、こちらの考えをなかなか汲み取ってくれない。5年間の最長保護観察期間だったが、信頼関係は結べたものの、5年間変わらず仕舞い。手を尽くしたが間もなく保護観察終了になる。このように心配を残しながら終えるのもかなりある。「よかったわね」と心配なく更生できるのは、半分位だ。

保護司会では、「安全・安心、住みよいまちづくり」のため、社会を明るくする運動を展開、街頭で啓発活動をしたり、区民祭や学校の教育会議等に参加して活動をしている。

以前、専門家の話を聞いたことがある。放火犯が毎夜、今夜はどこを放火しようか、人目を盗んで夜回りしていると、「こんばんは」と声を掛けられる、今夜は縁起が悪い、取りやめよう、ということになるらしい。

自分一人だけの力には限りがある。だが、地域の人々皆が、やさしい心を持って声を掛け合うことで街全体が変わってくると思う。まずは出来ることから始めようと思う。





茗溪会公開講座

平成28年 6月25日(土) 2時～3時半
茗溪会館にて

藤原教授の英語のはなし 第13弾

「知っておきたい日本発の英語の本」

講師：藤原 保明 (筑波大学名誉教授)

第13回目の今回の講演では、明治18年から「ちりめん本」と呼ばれる美しい絵入りの本で日本の文化や民俗を紹介していた長谷川武次郎とその英語の紹介をした。

1 日本文化の発信

幕末に鎖国が解かれ、西洋の文物がなだれのように日本に流入し始めた頃、内村鑑三(1861-1930)、岡倉天心(1862-1913)、新渡戸稲造(1862-1933)らは日本文化を英文で欧米に発信していた。

彼らほど高邁な理想や識見を伝えようとしたのではないが、より早い時期から日本の昔話を中心に「ちりめん本」と呼ばれる和綴じの本で日本文化を海外に紹介し続けた長谷川武次郎(1853-1936)という人物がいた。

このちりめん本は、英・独・仏など8カ国語で出版され、しなやかでしっとりとした手触りの紙と、実にきれいな木版画、それに異国情緒あふれる物語によって、海外で高く評価されることとなった。

2 ちりめん本の出現

2.1 ちりめん本入門

ちりめん本は、和紙に木版で挿絵を刷り込み、そこに欧文を活版で印刷し、ちりめん加工を施し、左開きに糸で綴じたものである。

武次郎は、欧文の訳述は外国人の手に委ね、挿絵は優れた画家に託し、日本の昔話や和歌などをテーマとした小型の和綴じ本を明治18年(1885年)から出版し始め、次男の西村興作の分と合わせると、70年以上「ちりめん本」を出していた。

2.2 ちりめん紙の制作

ちりめん本は、「伊予炬(いよまさ)」という柔らかい和紙に色鮮やかな挿絵を刷る。次に、欧文の本文を活版で刷り、その和紙を軽く湿らせた上で円筒形のものに巻き付け、上から圧縮する。その後、和紙を広げ、90度向きを変えて巻き付けて圧縮する。さらに、斜めの角度からも圧縮する。こういう行程を数回繰り返すと原紙の8割程度に縮んだちりめん紙が出来上がる。

2.3 ちりめん本の制作者

ちりめん本の企画・制作を行った武次郎は京橋で輸入業を営む家の二男として生まれた。兄の松之介は日本橋の輸入食品店「明治屋」の創業者。武次郎は築地のミッションスクールで英語を学び、宣教師やお雇い外国人たちと交流し、英語力をつけ、銀座の商法講習所で商才を身につけ、外務省の高官との接触によって、優れた訳述者を得た。

2.4 ちりめん本の職人たち

ちりめん本の出版には多くの職人が必要であり、当時、武次郎の近辺には、絵師(10人ほど)、彫り師(2人ほど)、摺り師(約6人)、揉み師(3人くらい)、綴じ師(3人ほど)がいて、

絵師には、小林永濯、川端玉章、鈴木華邨、新井芳宗、鈴木宗三郎らがいた。

2.5 ちりめん本の訳述者

武次郎は英語に堪能であったことから、外国人に英語で日本の昔話の概略を説明し、英文の素案にも助言していたと考えられる。挿絵についても、武次郎は英語の不案内な絵師に挿絵の割り付けの判断や指示をしたはずである。

英語版の主な訳述者は以下のとおりである。

デイビッド・タムソンは在日キリスト教宣教師。

ジェームズ・ヘボン(1815-1911)はアメリカの宣教師・医師、明治学院の最初の総理、和英辞典『和英語林集成』の著者、ヘボン式ローマ字の創始者、聖書の日本語訳の功労者。

バジル・ホール・チェンバレン(1850-1935)は東京帝大の博言学・和文学の教師、『古事記』などの英訳、日本旅行案内記などの本を著し、上田万年・芳賀矢一・岡倉由三郎・佐々木信綱など多くの弟子を育てた。

ジェイムズ夫人は英国海軍軍人トーマス・ジェイムズの妻、詳細は不明。

ラフカディオ・ハーン(1850-1904)は1890年に来日、1896年に帰化、小泉八雲と名乗る。東京帝大の講師などを務め、『Kwaidan』『怪談』(1904)など、流麗な英文の多くの著書によって日本を海外に紹介した。

2.6 ちりめん本の評価

ちりめん本は明治33年(1900)のパリ、明治37年(1904)のセントルイス、明治43年(1910)のロンドン、大正4年(1915)のサンフランシスコなどでの万国博覧会において金賞を受賞している。

3 ちりめん本の紹介

3.1 「日本昔噺」

ちりめん本の代表的なものは日本のおとぎ話に題材をとった「日本昔噺」シリーズ(全20巻)であり、明治18年から25年まで刊行された。このシリーズの本は小型(10.5×15cm)のもので、ちりめん加工されている(一部にやや大きめの平紙版(12.3×18.2cm)もある)。一冊の分量は表紙も含めて18～34頁。今回の講演では英語版のみ紹介した。

訳述者はタムソン(1～6巻)、ヘボン(7巻)、ジェイムズ夫人(19～12巻、14～20巻)、チェンバレン(8、9、13巻)の4名。担当の絵師は永濯(1～12巻、18巻)、玉章(13巻)、華邨(14、15巻)、芳宗(16巻)、宗三郎(17巻)の5名。永濯の貢献度が際立つ。3巻(16、19、20)の絵師は不明。

1.『桃太郎』、2.『舌切雀』、3.『猿蟹合戦』、4.『花咲爺』、5.『勝々山』、6.『鼠の嫁入り』、7.『癩取』、8.『浦島』、9.『八頭ノ大蛇』、10.『松山鏡』、11.『因幡の白兔』、12.『野干の手柄』(*野干(やかん)は狐の別称)、13.『海月』、14.『玉の井』、15.『俵の藤太』、16.『鉢かづき』、16'.『文福茶釜』(*16は後に『文福茶釜』に

変更された)、17.『竹篋太郎』(*竹篋(しっぺい)太郎は化け猫を退治した犬のあだ名)、18.『羅生門』、19.『大江山』、20.『養老の瀧』

3.2 続「日本昔噺」、「日本昔噺」(第二シリーズ)

「日本昔噺」には続編が2冊、第二シリーズが2冊知られている。著者はいずれもジェイムズ夫人。21は明治27年刊、絵師は華邨、22は明治29年刊、絵師は芳宗。

21.『三つの顔』、22.『想い出草と忘れ草』

3.3 「日本昔噺」(第二シリーズ)

この第二シリーズは明治22年刊の2と明治36年刊の3のみ知られていて、いずれも著者はジェイムズ夫人。絵師は不明。

2.『打出の木槌』、3.『壊れた像』

3.4 ハーンの5冊本(明治31~大正11年)

いずれもハーンが訳述し、絵師は1~4は華邨、5は不明。サイズは13.8×19.3cm。

1.『猫を描いた少年』、2.『化け蜘蛛』、3.『団子をなくしたおばあさん』、4.『ちんちん小袴』、5.『若返りの泉』

3.5 「日本昔噺」以外の挿絵本

「日本昔噺」以外にも多くのちりめん本が刊行されていて、大部でユニークなものもある。以下はそのうちの一部である。

- 『詩集 刀と桜』(3巻本)(明治40~43年)『古今集』などから歌を選び、韻律の整った英文の詩に仕上げている。しゃれた造本と美しい挿絵は見る人の心を捉える。訳者は日本文学者の木村正太郎と英国人シャーロット・ピーク。絵師は蕉窓、月窓、華邨、芳宗の4名。
- 『日本の人々の生活』(明治28年)当時の日本人の日常の場面を選び、武次郎が簡単な説明を書き、他は芳宗の巧みな絵で埋め尽くされている。表紙は絵師の仕事場、次は火消しの出初式、3番目は結婚式、その後に葬式、次は相撲の場面というように、古き良き時代が偲ばれる景色となっている。
- 『カレンダー(1902年版)』(明治32年)4月は小金井堤の花見、5月は亀戸天神の満開の藤、7月は隅田川の花火大会、8月は上野不忍池の蓮の開花、11月は高尾山の紅葉など、版面と武次郎の手書きの説明は見事という外はない。

4 ちりめん本以外のおとぎ話

日本の昔話を英文で紹介したものはちりめん本以外にもあり、童話作家の巖谷小波(1870-1933)の『日本お伽噺叢書』(全12冊)(昭和13年、北星堂刊)はその好例。輸出目的で作成され、活版印刷で、ちりめん加工はなく、挿絵には彩色がない。しかし、本のサイズや和綴じなどから、「ちりめん本」を意識していたことがわかる。12編の昔話は「ちりめん本」の20編の12編と重なる。折り込みの活版多色刷りの挿絵(1葉)は出来が良く、物語の内容も「ちりめん本」より数倍詳しく、読み応えがある。このシリーズは6冊分が1冊にまとめられ、『日本のお伽噺』(昭和28年、北星堂、180頁)として刊行されている。

5 ちりめん本の復活

平成14年にちりめん本が復活した。京都の経師大入(きょうじ おおいら)が発行したこの作品集は、荒俣宏の解説『本書由来の事』(本文12頁)、京極夏彦の解説『妖怪画縮緬本となる事』(16頁)、水木しげるの『ちりめん本 水木しげるの作品集』(36頁)から成る。サイズは16.5×11.6cm。

妖怪画のため華やかさはなく、ちりめん紙のしなやかさは「ちりめん本」には及ばないが、ちりめん紙の技術が朽ちていないことを喜びたい。

6 ちりめん本の英語

武次郎の「ちりめん本」の英語は訳述者によって難易度に

差はあるが、全体としては、いずれも簡潔にまとめられ、平易で読みやすい。個別に取り上げ、他の英文のおとぎ話と比較すると、たとえば『猿蟹合戦』のちりめん本版と巖谷小波版とを比べてみると、前者は、分量は後者の6分の1程度であるが、語彙は辞書で意味や用法の確認を必要とするものが少なくない。後者ではそのような必要がまったくないほど平易な表現で書かれている。このことから、後者は最初から入門用の英語のテキストとして書かれた可能性が高い。

「ちりめん本」の英文の例として次の2編を紹介したい。最初は、「待つこと」と題した詠み人知らずの4行詩2連である。abbaという「囲み韻」という形式の脚韻詩に整えられている。夜が明けると仇打ちでもあるのだろうか、倉にしまってある太刀に話しかけることで、はやる気持ちを抑えようとしている。

“Waiting”

Within my treasure house a casket lies,
And shut therein Two Dragons writhe and moan;
As I keep vigil in the night alone
My spirit is tormented with their cries.
Be still, my Swords, Alas! Not yet, not yet
The day of action dawns; ye need not fear,
Moment by moment it is drawing near.
Be silent. Do ye deem that I forget?

「倉の中に手箱があり、その中に二匹の竜が閉じ込められて、もだえ、苦しんでいる。わしは夜一人で見張りをしている。彼らの鳴き声で心が痛む。

おい、剣よ、静かにせよ！行動を起こす日はまだまだ明けない。お前たちは恐れるいわれはない。夜明けは刻一刻と近づいている。静まれ！わしが忘れていても思っているのか？」

2編目は江戸城を築いた室町中期の武将で歌人の太田道灌(1432-86)が「わが家の窓から」と題する和歌を英文4行で abab という交互韻の形式に整えたものである。

“From My Window”

My dwelling is a little Hovel, Yea!
But near the sea and sheltered by the Pines,
And looking thence I see where far away
The Snow upon the Peak of Fuji shines.

「そのとおり、私の住まいは小さなあばら家です。しかし、海に近く、松林に守られています。そこから眺めると、はるかかなたで富士の山頂の雪が輝いているのが見えます。」

今回の講演にあたり、次の2点の文献を参照しました。
中野幸一・榎本千賀(編)『ちりめん本影印集成 日本昔噺輯篇』(全4巻)、2014年2月28日、勉誠出版。
石澤小枝子『明治の欧文挿絵本 ちりめん本のすべて』平成16年3月24日、三弥井書店。

「ちりめん本」のカラーコピーを10頁以上配布し、「ちりめん本」の現物2冊を回覧しましたが、好評でした。講演後の質疑応答も楽しいひと時でした。



茗溪・東西南北

会の更なる活性化を 目指し取り組んでいます

奈良茗溪会 岩佐泰造

奈良茗溪会では、現在約160名の会員を有し、年一回総会を企画し、会員相互の親睦と情報交換の機会としています。またそのために、年3回の幹事会を開催し、幹事17名によって、総会の企画運営方法の検討や本会の更なる発展について活発な意見交換を行っています。

昨年度6月27日奈良商工会議所で実施された総会では、奈良茗溪会藤善会長の挨拶に始まり、平成27年度の活動計画、会計報告、今年度の役員紹介、代議員会報告をおこなうとともに、江田昌佑理事長をお招きし、現在および今後の茗溪会の展

望についてのお話しを伺うことができました。
総会後の講演会では、江田昌佑理事長を来賓としてお迎えするとともに、コーチング・ソルナ代表の大川郁子様をゲスト講演者としてお招きし、学校や生活においてのコーチングスキルについて、さまざまな指導方法や人との関わり

方について、ワークショップを交えた講演を行っていただきました。

総会・講演会後の懇親会では、江田理事長や大川郁子様を囲んでさまざまな話で盛り上がり、盛会をもって終えることができました。

近年の本会における課題として、若手茗溪会会員の更なる参加が上げられております。昨年度までの5年間は公益事業として茗溪会本部からも援助をいただきながら総会後に講演会を開き、会の活性化を目指し取り組んでまいりました。平成28年度は講演会に代わる新たな試みとして、総会前にスポーツ施設においてフットサル（ミニサッカー）を企画し、若手会員の交流の場を設けることを計画しています。また、本県だけの交流にとどまらず、大学同期等横のつながりについても活用しながら、近隣府県からも参加を募り、より参加しやすく、お互いの情報交換の場となり、結果として本会の更なる活発な活動につながるような機会になればと考えています。

会 長・藤善 尚憲（昭・33・教大教）
本部代議員・谷垣 康（昭・53・筑人）
事務局・岩佐 泰造（平・13・筑体）

香川茗溪会活動報告

香川茗溪会では、毎年一回、総会を開催しています。昨年度は、11月28日（土）にリーガホテルゼスト高松において開催し、36名の会員が参加しました。総会は、鶴岡英作会長（第二生物・昭57年卒）の挨拶で始まりました。今回、会長の交代が提案され、平成25年から2年間、会長を務められた鶴岡氏から高井信一氏（体専・昭55年卒）へバトンタッチされ、新会長として就任されました。

新入会員の紹介では、香川県で新たに教員としてスタートした新進気鋭の5名から、現場での奮闘ぶりや今後の抱負など、これからの活躍を期待できる頼もしい話があ

りました。

その後の懇親会には、参加者の最年長者である石川俊夫氏（体育・昭19年卒）の乾杯の音頭で始まり、多くの先輩方から新入会員まで、幅広い年代の会員が交流を深め合うことが出来ました。中締めとして、塩井敏治氏（文日史・昭29年卒）から挨拶・乾杯があり、その後、参加者全員が円になり、村上充氏（体修士・昭53年卒）のエンターにより、宣揚歌を声高らかに合唱し、会を締めくくりました。最後は、参加者全員で記念写真を撮りました。この会が、会員相互の親睦を深め、情報交換の場となるよう発展させていこうと考えていますが、新入会員の情報をはじめ、個人情報取り扱いの難しさなどもあり、なかなか思うように情報発信が出来ていないのが現状です。参加メンバーもやや固定化されている面はありますが、様々な分野

からの参加や若手会員の参加を増やせるよう、ネットワークを広げるとともに、積極的に呼びかけをしていきたいと考えています。また、講演会の実施など、新しい企画も考えながら、今後香川茗溪会のさらなる充実に向けて活動していきたいと考えています。



望についてのお話しを伺うことができました。

総会後の講演会では、江田昌佑理事長を来賓としてお迎えするとともに、コーチング・ソルナ代表の大川郁子様をゲスト講演者としてお招きし、学校や生活においてのコーチングスキルについて、さまざまな指導方法や人との関わり

北京茗溪会活動報告

北京茗溪会は、会長・副会長・幹事長・幹事を中心に、会員相互の親睦と情報交換を目的とした様々な企画を行っています。主な活動としては、年に三度の全体会（四月にお花見、七月に暑気払い、十二月に総会・忘年会）を開催し、その他にも会食や懇親会を随時開催しております。

直近では、五月三十日（月）に懇親会を開催しました。既会員の方々だけでなく、今春に新しく北京へ来られた方々もご参加下さりました。また、筑波大学へ留学された近年卒業・帰国された北京在住の現地の方々もお越し下さりました。当日は、中国国内他地域での茗溪会の活動や最近の筑波大学の様子など、地域や世代を超えた情報交換・交流の場となり、大変盛り上がりました。途中、熊本地震被災者募金への呼びかけも行い、非常に有意義な懇親会と相成りました。

今回は七月中旬に暑気払いを企画しております。今回も昨年の暑気払いと同様、北京校友会と共同開催します。双方より講演者をお招きして講演会を開き、その後懇親会を開催するという合同講演・懇親会形式で行われます。今回は、「中国高齢者社会」や「夏バテによる睡眠障害に対するつば治療法」など、時事問題から日常生活に関するテーマまで幅広く講演いただく予定です。

北京茗溪会は引き続き、新しく北京へ留学や赴任される方々や過去に筑波大学へ留学されていた中国現地の方々への北京茗溪会入会を呼びかけると共に、一人でも多くの会員に全体会や懇親会へご参加頂けるよう、様々な企画や機会を提供していきます。



3/27(日)北京・王淵潭公園にてお花見



5/30(月)北京・地酒ダイニング「Sake MANZO」にて懇親会

筑波大学 箱根駅伝 復活プロジェクト計画

今年92回を迎えた「箱根駅伝」には、母校はかつて常連校であり、名誉ある第1回の優勝校であります（優勝後の貴重な集合写真を発見したので掲載します）。しかし、残念ながら1994年以来、その出場が途絶えています。2010年に「筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト」が発足しましたが、予選会では本戦出場には及ばぬ順位が続いています。2015年4月に指導経験豊富な弘山勉氏（平成元年筑波大学体育専門学群卒）を長距離コーチに迎え、本格的に始動しました。その結果、2015年には、25人の長距離部員のうち20人が自己新記録をマークしたそうです。また、部員全員が茗溪会に入会しています。そこで本会員を初めとして全国のOB・OGに、長距離において優秀な高校生に対して筑波大学への進学を進めていただくとともに、合宿・遠征等の選手強化のために、ご寄付をお願いしたいとTSA（筑波大学スポーツアシション）電話020-85318093は要望しています。会員の皆様の方で悲願である箱根駅伝への出場を実現したいものです。



第1回箱根駅伝に優勝した高師チームの大塚の占春園での記念写真(大正9年1月)

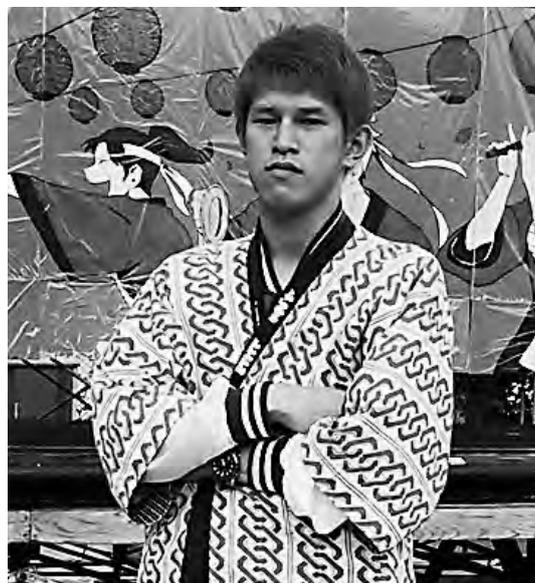
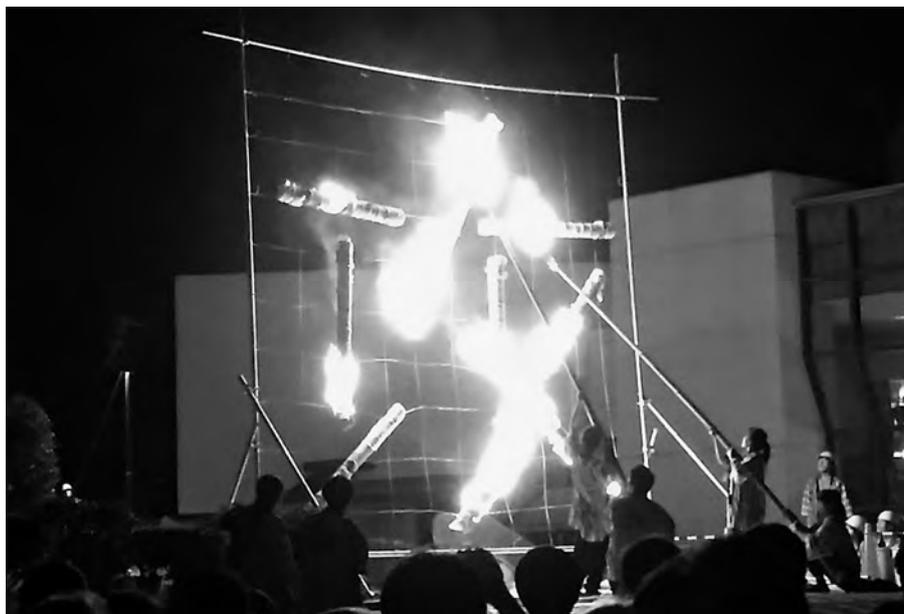
第42回

宿舍祭(やどかり祭)を

終えて

委員長 山崎 隼 多

理工学群工学システム学類3年



委員長 山崎 隼多

今年で第42回をむかえるやどかり祭は筑波大学とほぼ同じ歴史を歩んできた伝統あるお祭りです。そんな伝統あるお祭りの委員長として名を残すことができ嬉しく思います。私はもともとこのような団体のまとめ役になるような性柄ではなく、昔からそういう立場を避けてきました。しかし、先代から委員長を任命され、そしてこういう経験ができるのも今しかないと思ひ引き受けることにしました。就任した直後は力不足を感じ、なかなかうまく纏められず情けない思いもしました。この宿舍祭実行委員会は20人程度の規模のサークルで様々な人がいます。この人たちと出会い、色々なことを考えさせられる時には言い争いもし、自分の中の「委員長とはどうあるべきか」が形作られた気がします。こんな私を慕ってついてきてくれた後輩、支えてくれた同期そして様々なアドバイスをして下さった先輩方には本当に感謝してもきれません。

準備期間で苦労したことは、実行計画書を詰めていく段階で何度も見直しをしていました。宿舍祭実行委員会では実行計画書を各担当に書いてもらい、私を含めたやどかり祭のリーダーグループと面談しながら計画書を詰めます。担当は何十個もあり、時間も精神力も削ら

れるのでこの時期は委員のみんながピリピリしていました。この場は担当がいかに自分の仕事内容を理解しているのかを確認し、理解できてなかったら理解させるというのを目的としています。担当が全然仕事内容を理解していない、実行計画書に書いてある通りに仕事をしていない時は不安でしかなかったのですが、面談の回数が増えるたびに内容が固まって仕事を理解してくれているのを見るとすごく安心しました。

今年はやどかり祭は前夜祭・本祭共に天気に恵まれて、無事に企画や模擬店を順調に進めることができ、最後のゆかたコンテストでは例年以上の盛り上がりを見せていたと思います。今年も新企画がなく、昨年新企画として行った「大学生クイズ」「やどかりゆーす」を昨年とは内容を少し変えて行ったのですが、楽しんでいただけ嬉しく思います。

我々宿舍祭実行委員会は、入学したばかりの新生に交流の場を設けたいという想いでやどかり祭を作っています。私自身、1年生の時にこの祭を通してたくさんの友達が増えた覚えがあります。表彰式での挨拶の時に見せてくれた新生の笑顔がその答えだと思えます。新入生が、この祭を通してできた仲間と共に、今後の学園生活を楽しんでいただければ、実行委員長としてこれほど嬉しいことはありません。

以上です。祭に関わってくれたみなさん、ありがとうございました。第42回、大成功でした。



筑波大学はいま

筑波大学科学技術週間「キッズ・ユニバーシティ」

4月23日、科学技術週間のイベント「筑波大学 キッズ・ユニバーシティ」を実施しました。「科学の面白さや大学の魅力を体験してもらうこと」を目的とした、特別授業、観察ツアー等、盛りだくさんのイベントです。

今年は、大人向けに「キッズユニバーシティ」に付属おとなユニバーシティ」と題した企画も実施しました。



平成24年から毎年配布している「学生証」(有効期限は筑波大学に入学するまで)は今年も好評で、300名以上のキッズが受け取りました。キッズ・ユニバーシティの目玉は、大学教員による特別授業。今年も、人間系所属の湯川進太郎准教授による「『からだ』で『ころ』を調える/マインドフルネス入門」(これが、おとなユニバーシティの授業)と、体育系所属の高木英樹教授による「ヒトはどこまで速く泳げるのか?」を実施しました。

その他、3Dドームシアター上映会ではロビーに大きなエアドームを設営し、シミュレーション研究や最先端三次元計測の結果を立体映像で投影しました。

「筑波大学地底探検ツアー」と題した建物地下の巨大空間ツアーは、募集人数が少ないうちもあって、あっという間に申し込みが締め切られました。

筑波大学セキショウワールド完成!

第2サッカールームの人工芝敷設工事が完了し、4月27日に同グラウンドで竣工式が開催され、新グラウンド「筑波大学セキショウワールド」がお披露目されました。式典には、永田恭介学長をはじめ、今回の寄付者である



関彰商事株式会社 関正樹代表取締役社長、施行主の長谷川体育施設株式会社 森川司代表取締役社長ほか、本学の教職員・学生など、学内外の関係者約200人が出席しました。竣工式では、関正夫代表取締役会長から「地域に根付いた企業として大学に協力をできてこれ以上の喜びはない」との挨拶があり、永田学長からは「授業・課外活動での活用はもちろん、できる限り市民に開放していきたい」と謝辞が述べられました。

また、テープカット後の始蹴式では、永田学長がサッカーボールをゴールに蹴りこみ、シュートが決まると関係者から拍手喝采が送られました。



テクノロジと音楽の祭典 「INNOVATION WORLD FESTA 2016」を開催!

「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」(5月15日〜17日開催)の前夜祭イベントとして、5月14日に大学会館にて本学とJ-WAVEの共催による初のテクノロジと音楽のフェスティバルを開催しました。音楽プロデューサーをmifloのVERBALさん、テクノロジ・プロデューサーを本学OBでもあるChanel株式会社代表の森川亮さんが担当し、当日はMCやパフォーマン

スで会場を盛り上げました。本学学生が昨夏の構想段階から企画に参加し、一部セッション等の演出、本学ダンス部のパフォーマンス、屋外フードコートの企画、当日の運営などに携わりました。アフターパーティーには島尻安伊子内閣府特命担当大臣も出席し、ラジオ生放送に出演されるなど大盛況のうちに閉幕しました。

国際植物の日関連イベント「筑波大学みどり散歩」

5月18日は植物の大切さや植物科学の面白さをより多くの人々ともに見直して共有するための「国際植物の日」にあたることから、本学では22日に「筑波大学みどり散歩」を実施しました。

大人気の生命環境系所属の上條隆志教授による「みどり散歩」のほか、今回初の試みとして茨城県内の高校生による研究ポスター発表会を実施しました。



当日は県立日立第一高等学校、県立竜ヶ崎第一高等学校、茗溪学園高等学校、常総学院高等学校の4校が参加し、松本宏生命環境系長から特別優秀表彰を受けました。

また、一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟から茨城県第18団と茨城県第8団が参加し、それぞれの植物に関連した活動を発表紹介しました。東京フード株式会社は今年も「五感で愉しむチョコレート」展を実施し、カカオ豆の産地の違いによる食比べとミニレクチャーが人気を呼びました。



他にも、特別講演として田村憲司教授の「森林と土壌」と中山剛准教授の「藻類と植物の学名秘話」も実施されました。

◆山紫会 (東京教育大学文学部史学科東洋史専攻 昭和34年入学)

とき 平成28年6月1日(水)～3日(金)
 ところ 長野県下伊那郡神温泉 満蒙開拓平和記念館 高遠
 我々昭和38年東洋史専攻卒業のクラスは山紫会と称し、毎年各地持ち回りでクラス会を開いています。会の名称は、34年入学であり、当時の担任は山登りが好きだった中嶋敏先生で、しばしば「中嶋登山教室」と名付け山行を共にさせていただいたことに由来します。今年、6月1日、2日と長野県下伊那の昼神温泉への旅となりました。

ここには満蒙開拓平和記念館があります。長野県は全国一開拓団を送り出し、その中でも下伊那はトップで犠牲者も多数でした。入学時14名だった仲間のうち、奈良部清満君を喪いましたが、他はまずまず元気で今年も11名が参加。2日、3日は希望者7人で高遠を見学。来年は東京の予定です。文・北原 明 写真・柴崎正行
 前列(座っている)左より 北原・山口・伊藤
 後列(立っている)左より 柴崎・長谷川・中村・高原・藤森・早野・秋山・山邊



◆東京教育大学体育学部 昭和34年卒 神奈川の集い

とき 平成28年5月11日(水)
 ところ 横浜 天吉にて
 この集いは、川崎在住の同期会からスタート。現在の形になってから各家庭持ち回りで実施したこともありましたが、もう40年以上になります。さすがに年齢を感じますが、皆さん頗るお元気です。今年度、全員が傘寿を迎えるので、最終の集いという意見も出ましたが、結局継続することに。会員は現在13名。近況報告と幡ヶ谷の思い出話に花が咲き、楽しい集いになりました。写真・文 平野
 左から竹信・佐藤・大塚・川口・星野・清水良・赤地・田中・平野



◆東京教育大学英語学・英米文学専攻 昭和31年卒クラス会

とき 平成28年5月27日(金)
 ところ 新宿高島屋14階「美先」
 二年ぶりのつどいであったが前回と同じ9名の出席。メンバーは固定化してきたものの、健康不安を口にしながら全員が実は元気で八十代の生活を謳歌していた。(幹事 古谷三郎)
 後列左から 倉持三郎、園城寺信一、川名幸雄、中田 修、古谷三郎
 前列左から 岡野昌雄、諏訪秀隆、半谷順子、堀内康宏



◆大塚人文地理学OB会

とき 平成28年6月26日(日)
 ところ アルカディア市ヶ谷(私学会館)
 東京文理科大学・東京教育大学・筑波大学で人文地理学を学び、大学その他で研究と教育に携わってきた60歳以上の関東在住者を中心とした交流会で、21名が参加しました。変わらぬ人文地理学に対する熱意で、活気のある会になりました。
 写真：内山幸久 記：田林 明



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せ下さい。

- (写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれかで撮影したものでも結構です。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。
- (文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31字×5行以内でお願い致します。

◆博報堂OB茗溪会

とき 平成28年3月30日(水)
ところ 神田錦町 テラススクエアビル

博報堂本社の現業部門は、昭和40年以降神田錦町⇒有楽町⇒丸の内⇒田町⇒赤坂と移転し現在に至っている。昨年神田錦町の旧本社跡地に住友などと共同で17階のオフィスビルが完成。その際、東京都の要請により、昭和5年に重文の明治生命ビルを設計した岡田信一郎氏による旧本社の本館部分を復元し、フードコートとしている。この神田錦町の復元ビルで、未知の広告業界に飛び込んだ頃を懐かしみながら懇親の花を咲かせた。(長坂邦彦)



◆東京教育大学文学部社会科学科 昭和32年卒 クラス会

とき 平成28年4月14日(木)
ところ 嘉ノ雅・茗溪館(茗溪会館)占春

傘寿を過ぎての久振りのクラス会、参加者は、卒寿を超えお元気な暉峻衆三先生(経済)と学友10名(別項)です。まず、茗溪会筑波所長の案内で、懐かしい大塚キャンパスと占春園を、各々の思い出を胸に一巡した。懇親会は、新装なった茗溪会館占春にて各自の近況報告で盛り上り、最後(?)にもう一度集まろうを合言葉に散会した。

出席者(□印幹事 文責・福岡一雄)
社会：濱田 寛
法政：五十嵐耕一 井上良一 渡辺 剛 福岡一雄
経済：笠井ひろ子 加藤公男 河合明博 黒江輝雄 土屋道生

◆三四会(東京教育大学 理学部 数学科 昭和34年卒)

とき 平成28年5月24日(火)
ところ 嘉ノ雅・茗溪館 占春

卒業して57年、49回目の集いになる。遠路福岡、新潟、松本からを含めて、昨年より2人多い17人の出席を得た。今回の最大のテーマはこの会の存続についてであった。会員の年齢が傘寿を超えたことと幹事のご苦勞を考慮して残念ながら今回で解散することになった。この会の発足時は44人だったが、現在33人が何とか健在であることを喜び合って解散した。(文・写真 龍井昇治)



◆東京教育大学体育学部 昭和33年卒 同期会

とき 平成28年5月16日(月)
ところ 新宿西口 栄寿司西口店

本年は30名の同期生が元気な顔を見せてくれた。例年通り、皆、よく飲み、よく食べ、あちこちの車座で昔を今を語り合い、時の経つのを忘れていた。私共は、昨年で全員が傘寿を迎えているが、会場の盛り上がりは、若く澆刺としていた昔を想起させさせるものだった。来年も楽しみだ。写真・渡辺悦男 記・渡部岑生



◆東京教育大学農学部農業工学科 昭和37年卒 同期会

とき 平成28年5月10日(火)・11日(水)
ところ つくば市 オークラフロンティアホテルつくば

全員が喜寿を迎える年、幹事・田中の企画で筑波大学を訪ねた。大学広報室の方に懇切なる案内を頂き、松本宏教授(生命環境系長)からは時代の最先端を担う各学群の取り組み等の説明を受けた。気分は学生時代に逆戻り、満ち足りた気持でキャンパスを後にした。夕食会は、駒場、大塚、筑波の話が飛び交って盛会。再会を誓う。(写真) 後列左から 後藤、水本、田中、松本教授、加藤、譚、榛葉 前列左から 柿下、川村(旧姓山田) (文：柿下)



茗溪学園だより

G7記念シンポ・ハイスクールサミット

伊勢志摩G7サミットに先駆ける5月15日、つくば市において「G7茨城・つくば科学技術大臣会合記念シンポジウム・ハイスクールサミット」(会場・つくば国際会議場)が開催されました。地元の高校4校(竹園高校、並木中等教育学校、土浦一高、茗溪学園高校)から代表2名ずつが壇上に、フロアにも多くの中学生高校生が席を占めていました。本校からは中学生高校生90名(希望者)が参加しました。

シンポジウムでは、江崎玲於奈氏ほかのノーベル賞受賞者の講演が行われ、生徒たちは貴重な話に興味深く聞き入っていました。その後、高校生の代表(本校高校3年生)により、事前に行われた「ハイスクール科学技術サミット」(2月10日実施)においてまとめられた「提言書」が英語で読み上げられ、島尻安伊子科学技術政策担当大臣に手渡されました。また、各国の大臣にも各校の代表から手渡されました。

なお、2月に行われた科学技術サミットは、中学生の科学への興味関心を高め、次世代を担う若者の声を発信することを目的に開催されました。前述の高校の代表者



各国大臣らを前に提言書を読み上げる

8名にG7を構成する国・地域出身の筑波大留学学生14名が加わり、模擬サミットとして行われました(発表はすべて英語)。
 「医療と科学技術」「新エネルギー」「宇宙開発と工学」「食糧と科学技術」の4テーマで高校生による発表があり、それに対し留学生との意見交換が行わ

れました。
 最後に、「科学技術は人類を幸せにすることが出来るか」というメインテーマでディスカッションが行われ、それらをまとめ5月5日の「提言書」となりました。

国際交流・マレーシア高校生来校

「教育ツアー」として茨城県を訪れていた高校生とスタッフ26名が、6月1日に来校し交流をしました。歓迎セレモニーの後、高校2年生の英語授業に参加し、グループごとに分かれてマレーシアや日本について、学校生活のことなど、たくさん話題で盛り上がっていました。

授業の後の校内見学の時には、日本の高校や本校の教育内容などについての多くの質問が寄せられ、関心の高さが伝わってきました。短い時間でしたが、双方の高校生にとって、互いの文化や生活を直に触れる機会となり、有意義な交流となりました。

文化祭交流企画・留学生プレゼン

6月に開催された「桐創祭」(本校の文化祭)において、

本校在学中の交換留学生によるプレゼンテーションが行われました。これは、語学部による桐創祭恒例の企画ですが、今年度はフランスからのロータリー留学生と、タイか



自己紹介から始まり、趣味や遊び、生活習慣など話題は広がりを見せた。



発表後のディスカッション。日本語での応答に留学の成果が見えた。

らのAFS留学生(共に女子)の2人が発表しました。パワーポイントや動画を使つての日本語による発表でした。1年の留学期間を終え、間もなく帰国するフランスからの留学生にとっては、留学期間中に学んだ日本語の集大成といえるものでした。タイからの留学生は4月に来たばかりでしたが、すでに日本語を学んできていて、こちらも流暢な日本語での発表でした。質問にも日本語で答え、日本語の高さ、日頃の努力のあとが窺われました。

部活動など結果報告(5~6月)

【全国大会、インターハイ】

◎**高校ラグビー部**：①第17回全国選抜大会(4月・熊谷市)予選リーグ1勝2敗、決勝トーナメント進出ならず ②第3回全国高等学校7人制大会(県予選優勝)3年連続3回目出場、7月16~18日東京・江戸川競技場他

◎**中学ラグビー部**：第7回全国中学ラグビー大会・6年連続6回目出場、9月水戸市開催；第67回関東中学ラグビー大会4年ぶり13回目の優勝^(※1)を果たし関東代表としての全国大会出場

◎**高校バドミントン部**：男子ダブルス県大会2位、インターハイ出場(岡山市開催8月8日から)

【関東大会】(出場部活)

高校ラグビー部、中学ラグビー部(優勝)、高校剣道部(男子団体)、高校バドミントン部(男女団体、個人)、器械体操部、軟式野球部(7年ぶり2回目の優勝)⇒関東の軟式野球界には、作新学院(全国優勝経験多く常に全国のトップクラスにある)を筆頭に強豪校が数多いが、この作新学院を初戦で破り、勢いに乗って優勝を果たした。全国大会(8月下旬西宮市開催)出場には、北関東地区予選(8月初旬)があり、作新学院は本校にとって越えなければならない大きな壁となっている。今回の関東大会の対戦そして勝利は、全国大会に向けて貴重な経験、希望も膨らむ。

※1 中学ラグビー部の関東大会記録：1982年初出場して以来35年連続出場。'84年初優勝。今年、決勝戦は東京の本郷中学との対戦、29-19で勝利。13回目の優勝(準優勝は8回)果たす。'11年より6年連続で決勝戦進出、優勝3回、準優勝3回。優勝13回は、慶応普通部19回(出場回数63回)に次ぐ第2位の記録。

追悼録 (敬称略)

福井 保 07文図講習所 28・2・4
 〒182-0006 調布市西つつじヶ丘1-17-14-502 三女 山下 康子
沖館 壽郎 16文一 27・12・1
 〒010-1421 秋田市仁井田本町6-4-27-ⅢA-3号室 長男 沖館 洋
山内 浩 17理二 28・2・22
 〒862-0923 熊本市東区東京塚町8-25 妻 山内 慶子
鷺見 義郎 18文図講習所 28・4・17
 〒615-0033 京都市右京区西院寿町25 長女 二保 孝子
小倉 基弘 19文三 28・3・31
 〒182-0021 調布市調布ヶ丘3-39-11-209 長男 小倉 基義
熊澤 淡 19理一 28・2・23
 〒763-0052 丸亀市津森町1190-14 姪 西川友見子
寺澤 文晴 19農教 27・8・26
 〒120-0003 足立区東和3-6-8 長男 寺澤 賢
高橋 雅雄 20臨物象 27・11・8
 〒347-0054 加須市不動岡1978 長男 高橋 広晃
寺崎 主税 22理四 27・11・30
 〒322-0048 鹿沼市村井町256-6 長男 寺崎 明男
今村 義正 22体専臨 28・4・4
 〒252-0324 相模原市南区相武台2-2-2 長女 峰尾 充江
小梶幸三郎 23文四 28・2・22
 〒527-0013 東近江市東中野町1-4 長男 小梶 健一
杉野 卓治 23理三 28・6・10
 〒510-0304 津市河芸町上野131-3 長男 杉野 裕治
鈴木 健一 23理三 28・3・19
 〒168-0082 杉並区久我山4-33-22 長女 東方理恵子
井上 元二 23体 28・2・28
 〒523-0043 近江八幡市池田本町930-80 次女 足立 尊子
小坂 泰一 24理一 28・3・5
 〒981-8006 仙台市泉区黒松1-11-13 長男 小坂 博信
田中 文盛 25大倫 27・12・16
 〒133-0051 江戸川区北小岩5-27-16 長男 田中 文雄
中山 欣司 26文三 28・4・23
 〒326-0814 足利市通2-2739 妻 中山 孝子

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・遺族住所・氏名

吉堀 菊雄 26文三 28・4・11
 〒236-0011 横浜市金沢区長浜1-7-12 長男 吉堀 卓也
松澤 徳雄 27文一 28・1・9
 〒398-0002 大町市大町2604-1 長男 松澤 猛男
松平 尚 27理二 27・3・24
 〒350-0043 川越市新富町5-3-6 妻 松平 照子
吉田 宗茂 28教大日史 27・12・13
 〒174-0041 板橋区舟渡1-12-1 妻 吉田 清子
佐藤 俊雄 28教大東文 28・2・4
 〒243-0412 海老名市浜田町3-9 長女 大内 雅子
小泉 晴一 30教大植 28・4・4
 〒196-0012 昭島市つつじが丘3-2-3-505 長男 小泉 淳
比企 好弘 31教大心 28・5・12
 〒254-0051 平塚市豊原町30-2 妻 比企 陽子
長田 一臣 32教大体 28・2・28
 〒158-0081 世田谷区深沢8-9-12-601 妻 長田 和子
古藤 昭子 32教大体 28・4・18
 〒164-0011 中野区中央1-43-15-501 夫 古藤 高良
鮫島 新一 32教大健 28・3・6
 〒196-0014 昭島市田中町3-2-17-2 妻 鮫島 フミ
神 文雄 33教大体 28・1・14
 〒703-8241 岡山市中区高島新屋敷322-1 妻 神 章子
西勝 忠男 34院修哲 28・3・24
 〒354-0031 富士見市勝瀬3369-1205 妻 西勝 和子
喜多村 望 34教大健 28・4・15
 〒690-0823 松江市西川津町3376-12 妻 喜多村瞳夜子
森岡 直樹 37教大健 28・5・12
 〒061-1146 北広島市高台町6-1-3 妻 森岡かほる
尾崎 弘明 38教大農 28・2・13
 〒981-8002 仙台市泉区南光台南1-8-14 妻 尾崎美智子
衣斐 基夫 41教大健 28・3・6
 〒503-0015 大垣市林町3-179-1 妻 衣斐 篤子
小森章二郎 47教大武 28・3・3
 〒703-8255 岡山市中区東川原273-25 妻 小森 順子



Service Safety Sincerity
 あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
 Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
 大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
 支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人若漢学園理事)

つくば本部 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若漢会担当: 上席執行役員 人事部 岡本 俊一
 (昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

OZONE 大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

☆24時間営業

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

平成二十八年春の叙勲

おめでとうございます(敬称略)

瑞宝中綬章

磯谷 誠一	35 教大健康	37 教大専攻科	(佐賀)
小林 敏雄	34 教大地鉦物	36 院修地鉦物	(新潟)
笹田 昭三	31 教大数学		(兵庫)
佐藤 雄介	34 教大工芸		(愛知)
末永 政治	34 教大体育		(鹿児島)
千代 正明	45 図短大特養		(神奈川)
山根 成之	34 教大体育		(鳥取)

旭日小綬章

桜井 直紀	42 教大応用数学		(群馬)
-------	-----------	--	------

瑞宝小綬章

石川 和昭	40 教大体育		(東京)
磯田 富弘	39 教大体育		(三重)
日下部高明	34 教大地学		(栃木)
久原 建	36 教大体育		(佐賀)
甲田 充彦	48 教大体育		(東京)
柴崎 茂夫	26 高師理二		(千葉)
清水 進一	43 教大数学		(神奈川)
堀江 肇	51 教大研究生		(栃木)
松永 幸夫	26 高師理一		(神奈川)

東京都以外の瑞宝小綬章は、毎回、地域組織(以前の支部)にお知らせ下さるようお願いしておりますが、今回ご連絡いただいたのは11県でした。

広報

地域茗溪会の総会・講演会

理事は本部からの派遣理事

月日	地域名	理事	月日	地域名	理事
6月4日	大阪	江田	6月15日	筑波大	西川
6月26日	長野	宮尾	7月2日	神奈川	川田
7月2日	新潟	高野	7月2日	群馬	馬高橋
7月2日	栃木	佐藤	7月2日	奈良	江田
7月3日	静岡	川田	7月3日	愛媛	西川
7月3日	千葉	百瀬	7月3日	愛知	井口
7月3日	茨城	五味田	7月9日	富山	高橋
7月9日	福岡	江田	7月16日	山梨	高野
7月17日	三重	江田			

「茗溪フェロー」掲載漏れのお詫びと追記

本誌1089号P17に「茗溪フェロー」にご協力いただいた会員の皆様の芳名録を掲載致しましたが、次の方のお名前が漏れておりましたので、お詫びして追記致します。

相澤鎮夫様 武井秀一様 西山弘子様

表紙の言葉 デザイン 茗溪会副理事長 西川 潔

梅雨時期の晴れ間は、ひとときわ美しい。昨夕は筑波市内から日光連山がはつきりと見えた。写真は筑波大学キャンパスの桐葉橋である。新学期の朝など渋滞するほど混み合うが、6月半ばにもなると、だいぶ落ち着く。橋後方の建物は学生会館である。桐葉の文字を見ると、きりくのはは...と宣揚歌を思ふのは運動部の学生か、相当年配の教職員にちがいない。そういえば、教育大の祭は桐葉祭とい、5月末か6月の初めころに行われていた。芸術の小生たちはその準備のために1週間程大学に寝泊まりした。その間、E館のまわりを毎朝ランニングするグループあって、4階から眺めたその絵が忘れられない。半世紀も前のモノクロの想い出である。

編集後記

・今回は特集を三つ組みました。一つ目は、第5回代議員総会に関するものです。二つ目は、筑波大学附属学校のシリーズです。今回は、視覚特別支援学校から原稿をいただき掲載致しました。次号はシリーズ第5回として坂戸高等学校、聴覚特別支援学校、桐が丘特別支援学校に原稿をお願いし掲載します。三つ目は、社会貢献で活躍する人々として、お二人の方に活躍の様子をまとめいただきました。

・個人的なことになり恐縮ですが、1046号(平成17年夏号)から今号(1090号)まで11年4ヶ月の間、季刊誌「茗溪」の編集に携って参りました。皆様のご支援・ご協力のお陰で任務を果たすことが出来ました。厚くお礼申し上げます。特に編集に関して、ご指導いただきました大勝信明前理事と神林喬前理事に心から感謝申し上げます。

これまで編集後記を45回書いて参りましたが、編集担当は前田三郎に交代します。(高原 將)

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡下さい。
- ・年会費のお振込みは、早めをお願いいたします。

平成28年7月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

E-mail info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇二四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

TEL 〇二九一八五〇一〇四四

FAX 〇二九一八五〇一〇四五

E-mail tsu3hinu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

-筑波大学の知の発信-
筑波大学出版会
<http://www.press.tsukuba.ac.jp/>

紙版・電子版 刊行予定

もっと知りたい!
「科学の芽」の世界 PART5

「科学の芽」賞実行委員会 編著

発売：丸善出版株式会社
 TEL:03-3512-3256
 FAX:03-3512-3270
<http://pub.maruzen.co.jp/>

最新刊 好評発売中



土地利用でみる
 アジアの都市化と
 自然環境

山下 亜紀郎 編著

3300円+税
 A5判 184頁
 ISBN 978-4-904074-39-8



【電子版】
 イスラームの
 人間観・世界観
 宗教思想の深淵へ

塩尻 和子 著

2800円+税
 A5判 336頁
 ISBN 978-4-904074-04-6【紙版】



【iBooks版】
 ダイナミック
 手術テキスト
 肝臓編

筑波大学消化器外科 編

9800円
 3D-CG手術
 ハイパーメディアテキスト

 **株式会社 阿部兄弟建築事務所**
<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人 (昭57 築基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント
福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所長 福岡 一雄 (32教大法政)
 社会保険労務士

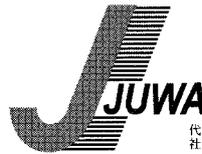
聖徳大学 大学院

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬55

電話 047-365-1111(代表)

E-mail: akifuji@seitoku.ac.jp

言語文化 藤原 保明 (昭48教修英)
 研究科長 平3 筑博文言)



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail:travel@juwa.com
 〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
 TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
 ~茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!~

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡
 2004年卒)



永井建設株式会社

〒273-0115 千葉県鎌ヶ谷市東道野辺3-1-7

電話 047(443)7908 FAX 047(443)7940

営業部長 高野 力 (昭48教大木工)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 **ケエスアイ**

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
 東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 **長谷工 コーポレーション**

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修に

ご家族で、お仲間

最大収容180名、お一人3,700円から
 茗溪会員とご家族に割引あり
 研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
 シングル145室ツイン5室和室5室/研修室2室(120・40名)
 和室も研修室として利用可(20畳、10畳)
 館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス

秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
 ●バス/「筑波大学循環」3丁目「筑波メディカルセンター前」下車
 徒歩8分●つくば駅からタクシー/5分

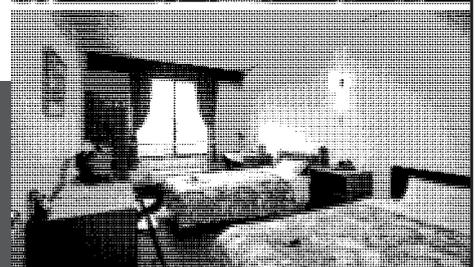
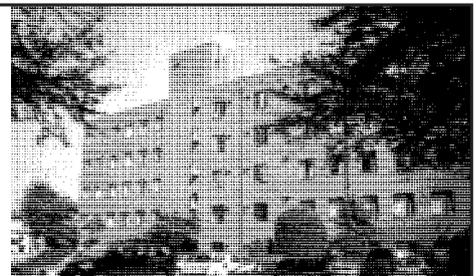
一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail:center@meikei.or.jp



(株)ブライダルは
筑波大学同窓会会員の
皆様の「結婚」を応援します。



結婚

38年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に筑波大同窓会の皆様には平成17年より「筑波大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「茗溪」を見たとおっしゃってくだされば、茗溪会の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にてお世話させていただきます。

筑波大コース 登録料
50%OFF

ブライダルコース
¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース
¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

http://www.bridal-vip.co.jp
http://www.bridal-vip.net/m/

右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



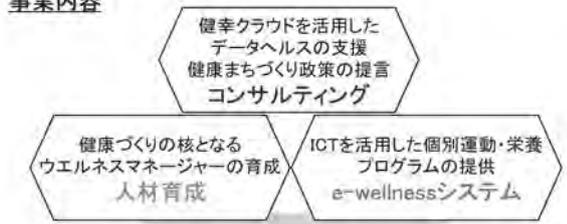
38年の実績
株式会社

ブライダル

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
Network / 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

TWR
「日本全国を元気にする！」
超高齢化社会に伴う健康課題に対して、
筑波大学の研究成果に基づく健康サービスを提供しています。

事業内容



地域の健康度の改善
医療費の適正化

ビジネスモデル



求人募集中！
一緒に日本を元気に
しませんか？

株式会社つくばウエルネスリサーチ <http://www.twr.jp/>
〒277-8519 千葉県柏市若柴178番地4 KOIL505
Tel: 04-7197-2360 Fax: 04-7197-2361

■採用情報：新卒・中途採用など様々な人材を求めています！詳細はHPをご覧ください



桜美林大学
J. F. Oberlin University

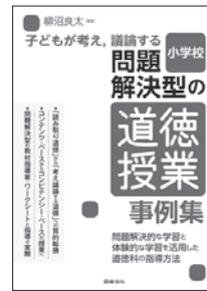
リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群 (2016 年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 三谷 高康
入試事務室相談役 川田 孝一 (昭39 教大総農)

【お問合せ先】
〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



子どもが考え、議論する 問題解決型の 道徳授業事例集



—問題解決的な学習と体験的な学習を活用した道徳科の指導方法

柳沼良太 編著 岐阜大学大学院准教授
前中教審道徳教育専門部会委員

小学校編 B5判 / 176頁 定価 本体2,600円+税
中学校編 B5判 / 148頁 定価 本体2,400円+税

従来の「道徳の時間」の画一的・形骸化した授業から脱却する指導方法
問題解決型の教材指導案・ワークシートと指導の実際

- ・教材は、問題解決型の授業が可能な定番教材、文部科学省『読み物資料』『私たちの道徳』、自作教材(資料付)からなる。
- ・各事例は、主題・ねらいの設定→教材の概要・分析→学習指導展開案→評価のポイント→ワークシート→指導の実際。
- ・指導の実際は、アクティブ・ラーニングのやりとりがわかる発問と発言。

おもな目次

- 第1章 道徳科における問題解決的な学習のあり方
- 第2章 問題解決型の道徳授業の作り方
- 第3章 問題解決型の道徳授業の実践例

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
<http://www.toshobunka.co.jp/>

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519
ブックライナーで注文可 ☎0120-39-8899

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

- ◆寮のある学校です
- ◆Study Skillsを評価し伸ばす学校です
- ◆海外大学進学も選択肢にできます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です

平成28年度公開行事

9月 3日(土) 高校受験生見学会
10月22日(土) 学園入試説明会
10月25日(火)～10月30日(日)
茗溪学園美術展
会場:茨城県つくば美術館



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)